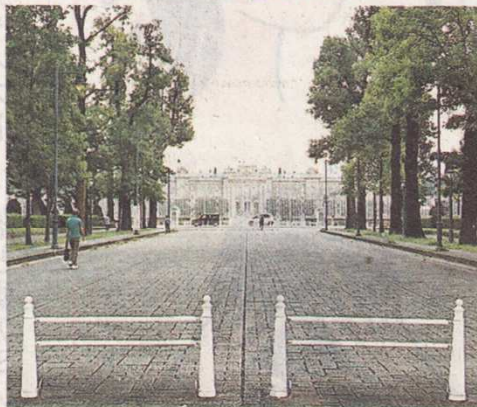


迎賓館前に商業施設構想

国宝で日本初の西洋風宮殿建築でもある迎賓館赤坂離宮（東京都港区）の観光地化を進めるため、周辺にカフェなどの商業施設を整えることを政府が検討している。訪日客の人気も高まっているが、近くに休憩スペースなどがなかった。正面に隣接する公園のうち国有地部分の地下スペースを活用する計画だ。政府は近く調査を実施。公園を管理する新宿区などと調整し、整備案をまとめる。201

訪日客に人気、国有地地下で

7年にも着工し、東京五輪・パラリンピックがある20年までの完成をめざす。明治42（1909）年に皇太子が住む東宮御所として建設され、戦後の74年以降は迎賓館として国賓の宿泊や首脳会談に使われるようになった。2009年に国宝に指定された。新宿区立公園などとして使われている国有地の一部を掘削し、カフェや展示スペースがある地下施設を整備する方針だ。（鬼原民幸）



①一般公開の頻度が増えている迎賓館赤坂離宮＝2015年11月、東京都港区②迎賓館赤坂離宮（奥）。手前の両脇の公園を活用してカフェなどを整備する計画だ＝東京都新宿区

